

難病医療費助成制度

■ 平成27年7月1日から

難病医療費助成制度の対象疾患(指定難病)が306疾病に拡大されます。
(既存の110疾病に196疾病が追加となります。詳しくは裏面をご参照ください。)

1.制度の概要

- 指定難病の医療費の自己負担割合が3割から2割に引き下げられます。
* 医療保険上で3割負担となっている患者さんの負担割合が2割となります。
- 指定難病の特性に配慮し、外来・入院の区別を設定しないで、世帯の所得に応じた医療費の自己負担上限額(月額)が設定されます。
- 自己負担上限額は、受診した複数の医療機関などの自己負担をすべて合算した上で適用されます。

階層区分	区分の基準(市町村民税)	自己負担上限額(月額)		
		一般	高額難病治療継続者*1	人工呼吸器等装着者*2
生活保護世帯	-	0円	0円	0円
低所得 I	非課税(世帯)本人収入: ~80万円	2,500円	2,500円	1,000円
低所得 II	非課税(世帯)本人収入: 80万円超	5,000円	5,000円	
一般所得 I	課税以上7.1万円未満	10,000円	5,000円	
一般所得 II	7.1万円~25.1万円未満	20,000円	10,000円	
上位所得	25.1万円以上	30,000円	20,000円	

*1月ごとの指定難病の医療費総額が5万円を超える月が年間6回以上ある場合です。

*2人工呼吸器などを装着している方の場合、所得に関係なく一律1,000円となります。

《軽症高額該当について》

- 特定医療費の支給認定の要件である重症度分類等を満たさないものの、月ごとの医療費総額が33,330円を超える月が年間3月以上ある患者については、支給認定を行う。

《対象者》

- ・支給認定の申請日の属する月以前の12月以内において、医療費総額が33,330円を超える月が3月以上ある患者

《確認方法》

- ・医療費総額については、指定難病に係るもののみとし、次のいずれかの方法で証明する。

- ① 医療費申告書に領収書等を添付(新規申請の場合)
- ② 自己負担上限額管理票(更新申請の場合)

2.難病医療費助成制度に関する申請について

- 申請の際には次の書類が必要になります。
 - ①診断書(臨床調査個人票)
 - ②申請書(指定難病医療費支給認定)
 - ③公的医療保険の被保険者証のコピー
 - ④市町村民税の課税状況の確認書類
 - ⑤世帯全員の住民票の写し

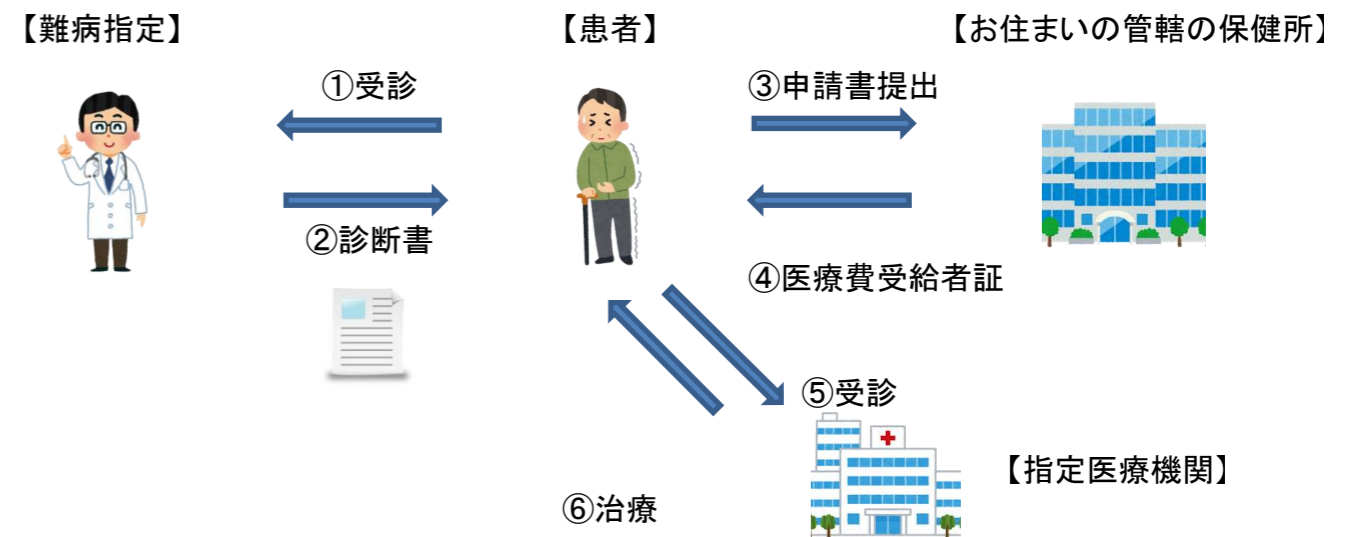
● 申請方法

お住まいの管轄の保健所の窓口に提出してください。

(札幌市の場合は各区の保健センターになります)



3.難病医療費助成制度



* 当院でのご相談やお問い合わせは、**地域医療連携室 医療ソーシャルワーカー**がお受けしております。

病 院 名:	独立行政法人 国立病院機構 北海道医療センター
住 所:	札幌市西区山の手5条7丁目1-1
相談時間:	月曜日~金曜日 9時~17時
電 話:	011-611-8111(病院代表)

平成27年1月1日施行の指定難病

ア	IgA腎症	ス	スティーヴンス・ジョンソン症候群		
	亜急性硬化性全脳炎		成人スチル病		
	悪性関節リウマチ		脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)		
	アジソン病		脊髄性筋萎縮症		
ウ	ウルリッヒ病	セ	全身型若年性特発性関節炎		
エ	HTLV-1関連脊髄症		全身性アミロイドーシス		
	遠位型ミオパチー		全身性エリテマトーデス		
	黄色靱帯骨化症		全身性強皮症		
	カ	潰瘍性大腸炎	先天性筋無力症候群		
下垂体性ADH分泌異常症		先天性副腎低形成症			
下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症		先天性副腎皮質酵素欠損症			
下垂体性成長ホルモン分泌亢進症		大脳皮質基底核変性症			
下垂体性TSH分泌亢進症		高安動脈炎			
下垂体性PRL分泌亢進症		多系統萎縮症			
下垂体前葉機能低下症		多発血管炎性肉芽腫症			
家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)		多発性硬化症/視神経脊髄炎			
多発性嚢胞腎		多発性嚢胞腎			
球脊髄性筋萎縮症		チャージ症候群			
キ	巨細胞性動脈炎	チ	中毒性表皮壊死症		
	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症		腸管神経節細胞僅少症		
	筋萎縮性側索硬化症		TNF受容体関連周期性症候群		
ク	クッシング病	ツ	天疱瘡		
	クリオピリン関連周期熱症候群		特発性拡張型心筋症		
	クローン病		特発性間質性肺炎		
ケ	結節性多発動脈炎	ト	特発性基底核石灰化症		
	血栓性血小板減少性紫斑病		特発性血小板減少性紫斑病		
	原発性硬化性胆管炎		特発性大腿骨頭壊死症		
	原発性抗リン脂質抗体症候群		特発性門脈圧亢進症		
	原発性側索硬化症	ノ	膿疱性乾癬(汎発型)		
	原発性胆汁性肝硬変		パーキンソン病		
	原発性免疫不全症候群		バージャー病		
	顕微鏡的多発血管炎		肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症		
	コ		好酸球性消化管疾患	ハ	肺動脈性肺高血圧症
			好酸球性多発血管炎性肉芽腫症		バッド・キアリ症候群
後縦靱帯骨化症		ハンチントン病			
甲状腺ホルモン不応症		肥大型心筋症			
ク	拘束型心筋症	ヒ	非典型溶血性尿毒症症候群		
	広範脊柱管狭窄症		皮膚筋炎/多発性筋炎		
	コストロ症候群		表皮水疱症		
	混合性結合組織病		封入体筋炎		
サ	再生不良性貧血	フ	副腎白質ジストロフィー		
	再発性多発軟骨炎		ブラウ症候群		
	サルコイドーシス		プリオン病		
シ	CFC症候群	ヘ	ベーチェット病		
	シェーグレン症候群		ベスレムミオパチー		
	自己貪食空胞性ミオパチー	ホ	発作性夜間ヘモグロビン尿症		
	自己免疫性肝炎		慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多発性運動ニューロパチー		
	自己免疫性溶血性貧血	マ	慢性血栓性肺高血圧症		
	シャルコー・マリー・トゥース病		慢性特発性偽性腸閉塞症		
	重症筋無力症	ミ	ミトコンドリア病		
	シュワルツ・ヤンペル症候群	モ	網膜色素変性症		
	神経線維腫症		もやもや病		
	神経有棘赤血球症	ラ	ライゾゾーム病		
	進行性核上性麻痺	リ	リンパ脈管筋腫症		
	進行性多巣性白質脳症	ル	ルビンシュタイン・テイビ症候群		

平成27年7月1日施行の指定難病

キ	アICALディ症候群	キ	筋型糖原病	セ	先天性葉酸吸収不全	ヘ	ベルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く)	
	アイザックス症候群		筋ジストロフィー		前頭側頭葉変性症		片側巨脳症	
	IgG4関連疾患		クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群		早期ミオクロニー脳症		片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	
	アッシュャー症候群		クルーゾン症候群		総動脈ミキ遺残症		ポ	ポルフィリン症
ア	アトピー性脊髄炎	ク	グルコーストランスポーター1欠損症	ソ	総排泄腔遺残	マ	マリネスコ・シェーグレン症候群	
	アペール症候群		グルタル酸血症1型		総排泄腔外反症		マルファン症候群	
	アラジール症候群		グルタル酸血症2型		ソトス症候群		慢性再発性多発性骨髄炎	
	有馬症候群		クロンカイト・カナダ症候群		ダイヤモンド・ブラックファン貧血		ミ	マイクロニー欠伸てんかん
	a1-アンチトリプシン欠乏症	ケ	痙攣重積型(二相性)急性脳症	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	マイクロニー脱力発作を伴うてんかん	ム	無脾症候群	
	アルポート症候群		結節性硬化症	タナトフォリック骨異形成症	無βリポタンパク血症			
	アレキサダー病		限局性皮質異形成	多脾症候群	メ	メーブルシロップ尿症		
	アンジェルマン症候群		原発性高カイルロミクロン血症	タンジール病	単心室症	メチルマロン酸血症		
	アントレー・ビクスラー症候群		高IgD症候群	弾性線維性仮性黄色腫	胆道閉鎖症	メビウス症候群		
	イソ吉草酸血症		好酸球性副鼻腔炎	胆道閉鎖症	遅発性内リンパ水腫	モ	モワット・ウィルソン症候群	
イ	1p 36欠失症候群	コ	抗糸球体基底膜腎炎	テ	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	ヤ	ヤング・シンプソン症候群	
	一次性ネフローゼ症候群		高チロシン血症1型		低ホスファターゼ症		ユ	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん
	一次性膜性増殖性糸球体腎炎		高チロシン血症2型		秀頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症		ヨ	4p欠失症候群
	遺伝性ジストニア		高チロシン血症3型		突発性後天性漸新世無汗症		ラ	ラスムッセン脳炎
	遺伝性周期性四肢麻痺	後天性赤芽球癆	骨形成不全症	ドラベ症候群	リ	ランドウ・クレフナー症候群		
	遺伝性鉄芽球性貧血	コケイン症候群	5p欠失症候群	中條・西村症候群	リ	リジン尿性蛋白不耐性		
	遺伝性膝炎	骨形成不全症	コフィン・シリズ症候群	那須・ハコラ病	リ	両大血管右室起始症		
	ウィーバー症候群	ウィリアムズ症候群	コフィン・ローリー症候群	軟骨無形成症	リ	リンパ管腫症/ゴーハム病		
	ウィルソン病	ウエスト症候群	鰓耳腎症候群	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	レ	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む)		
	ウエルナー症候群	ウォルフラム症候群	左心低形成症候群	22q11.2欠失症候群	レ	レーベル遺伝性視神経症		
エ	エーラス・ダンロス症候群	サ	三尖弁閉鎖症	ニ	乳幼児肝巨大血管腫	レ	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	
	ATR-X症候群		色素性乾皮症		尿素サイクル異常症		レット症候群	
	エプスタイン症候群		自己免疫性出血病XⅢ		ヌーナン症候群		レノックス・ガストー症候群	
	エプスタイン病		シトステロール血症		脳髄黄色腫症		ロ	ロスマンド・トムソン症候群
	エマヌエル症候群	紫斑病性腎炎	脂肪萎縮症	脳表ヘモジエリン沈着症	肋骨異常を伴う先天性側弯症			
	黄斑ジストロフィー	若年発症型両側性感音難聴	若年発症型両側性感音難聴	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	ハ	肺胞タンパク症(自己免疫性又は先天性)		
	大田原症候群	修正大血管転位症	進行性骨化性線維異形成症	肺胞低喚起症候群	ハ	肺胞低喚起症候群		
	オクシピタル・ホーン症候群	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	神経細胞移動異常症	肥厚性皮膚骨膜炎	ヒ	肥厚性皮膚骨膜炎		
	オスラー病	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	神経フェリチン症	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	ヒ	非ジストロフィー性ミオトニー症候群		
	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	家族性地中海熱	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	皮膚下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	ヒ	皮膚下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症		
家族性良性慢性天疱瘡	カーニー複合	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	ヒ	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症			
カニー複合	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	歌舞伎症候群	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	ヒ	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症			
カラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	ス	スタージ・ウェーバー症候群	ビッカースタッフ脳幹脳炎	ヒ	ビッカースタッフ脳幹脳炎			
肝型糖尿病	スミス・マギニス症候群	スミス・マギニス症候群	非特異性多発性小腸潰瘍症	ヒ	非特異性多発性小腸潰瘍症			
間質性膀胱炎(ハンナ型)	脆弱X症候群	脆弱X症候群	ヒルシュスプリング病(全結腸型又は小腸型)	フ	ファイファー症候群			
環状20番染色体症候群	脆弱X症候群関連疾患	脊髄空洞症	脊髄髄膜瘤	フ	ファロー四徴症			
完全大血管転位症	脊髄空洞症	脊髄髄膜瘤	先天性横隔膜ヘルニア	フ	ファンコニ貧血			
眼皮膚白皮症	先天性横隔膜ヘルニア	先天性核上性珠麻痺	先天性腎性尿崩症	フ	VATER症候群			
偽性副甲状腺機能低下症	先天性核上性珠麻痺	先天性魚鱗癬	先天性赤血球形成異常性貧血	フ	フェニルケトン症			
ギャロウェイ・モワト症候群	先天性魚鱗癬	急速進行性糸球体腎炎	先天性大脳白質形成不全症	フ	副甲状腺機能低下症			
強直性脊椎炎	急速進行性糸球体腎炎	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	先天性ミオパチー	フ	複合カルボキシラーゼ欠損症			
巨大動脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	巨大動脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	先天性大脳白質形成不全症	フ	副腎皮質刺激ホルモン不応症			
巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	先天性無痛無汗症	フ	プラダー・ウィリ症候群			
				フ	プロピオン酸血症			
				ヘ	閉塞性細気管支炎			
				ヘ	ペリー症候群			